

エフスタ!! in Aizu

「プロジェクトチーム全員集めました」

エフスタ!! vol.21



第2回となったエフスタ会津。今回は「プロジェクトチーム全員集めました」というコンセプトのもと、ディレクター・インフラエンジニア・デザイナー・フロントエンドエンジニアの方に登壇して頂き、盛り沢山の内容となりました。

エンジニアリング一辺倒の内容ではなかったためか女性参加率も高く、また初参加・学生の方の参加も多く賑やかな雰囲気でも和気あいあいと学びの時間を共有出来たのではないかと思います。

ご参加いただいた皆さん、講師の皆さん、本当にありがとうございました！

文責：エフスタ会津スタッフ 浅井・石川・大桃・大森・山川

オープニングセッション！

エフスタ!! in Aizuの最初のセッションは、株式会社シンクの石川 智史さんによるオープニングセッションです！

旬なITキーワードのひとつである「クラウド」の台頭とそれによって変わりつつあるWEBの世界についてお話頂きました。

また、HTML5やビッグデータなどの内容にも触れ、デモやご自身が作られたユニークなWEBサービスの内容を通し、分かりやすく丁寧なお話でとても理解しやすかったです。

「クラウドとは無限のCPUコアを利用すること！」

それにより以前は見向きもされなかったデータに価値が生まれていて、世界的な検索サービスは既にそのデータの獲得に乗り出していること。変わりつつあるWEBの世界を是非体感してほしい！という石川さんの想いが伝わってくるセッションでした。



プロジェクトを円滑にまわすための秘訣！

株式会社ディー・エム・ピーの近藤 信幸さんによるお話です。

「案件を円滑に進めるにはどうしたらいいか？」というテーマで具体的にどうすればいいのか、また実際に近藤さんが使っているツールの紹介などをしてもらいました。

案件を円滑に進めるには「クライアントの信用、協力を得る」、「制作スタッフを早い段階で参加させる」、「書類は都度整理整頓」というキーワードを軸に近藤さんの経験談を織り交ぜて分かりやすいように話していただきました。

さらにプロジェクト管理で実際に使っているツール（プロジェクト管理等）を複数紹介していただきました。またツールは色々な種類があってどれを使うのか迷う事がありますが、大事なことはそれぞれの案件にマッチするツールを使う事が大事だということをお話してもらいました。



インフラの話

株式会社シンの大森 信哉さんによるインフラエンジニアのお話です。

インフラエンジニアは、お客様の元で作業を行う機会が多いため、綿密な準備と適切な判断力が必要となる職種であるということを、仕事を通して学んだ経験や、リアルな失敗談とともに紹介して下さいました。

最近では、物理サーバーからクラウドに移行するケースが増えていますが、それは、ただ物理サーバの構成をクラウド上に再現するのではなく、例えば、トラフィックが増大したら自動的にインスタンスを増やすような、クラウドデザインパターンと呼ばれるクラウド独自の構成を組むことで、さらなる最適化を図ることができるそうです。

クラウドの知識を踏まえた上で、利用シーンや地域性なども考慮し、最適なインフラ構築手段を模索するべきであるという大森さんの姿勢に、インフラエンジニアの奥深さを実感させられました。

ITの技術革新とともに、私たちITエンジニアの仕事も少しずつ変化しています。大森さんが最後にご紹介下さった、ディベロッパーとインフラエンジニアがこれまでの役割を超えて協力しあう『DevOps』という考え方が、まさにその変化を物語っているようで、とても印象的でした。



デザインの話

株式会社フルゲインの稲葉 修平さんのお話です。

「どんなことを考えてデザインをしていくか？」を軸にデザインをする時の進め方から考え方を「選択（設計）」「整頓」「装飾」という3つのステップを実際にデザインしたウェブサイトを使って説明して頂きました。

デザインには基本的となるルールがあって、「選択（設計）」を決める時はかならず目的を明確に伝わりやすいものを選ぶことです。その他にも色を選択する時はベースカラー、キーカラー、補色を6:3:1で選ぶとバランスのいい色味になります。

「選択」のフェイズで決まった要素は「整頓」しなくては行けないが、この時にHTMLの構造を意識して整頓することで整ったウェブサイトになる。最後の「装飾」では美しく見た目を着飾るのだけでなく、その見た目のデザインでコンテンツの補足を行うことが重要だと言う事を説明していただきました。

エンジニアにとってデザイナーさんは直感的にデザインをしているように思われがちですが、実はルールに沿ってデザインをしているということを実際のサイトデザインを使ってステップごとに説明していただきました。



エンジニアがエンジニアとしてではなく生きる道！

株式会社CCLの西本 浩幸さんによるフロントエンドの話です。

「基本を身につけて自分なりのスタイルを確立してください」というメッセージから始まり、実際に西本さんが実践されている作業フローを紹介して頂きました。

デザインを受け取った後に一度紙でマークアップ設計を考える、エフスタのWebサイトを例にCSSの適用・非適用での違いを見せマークアップの重要性の説明などをしていただきました。

また、セッションの中で興味深かったのは、ただ技術を追い求めるだけではなく、技術をどう使うかという生き方の部分でした。

技術に偏重していってしまいがちなIT勉強会でこういった視点を持ってきて頂けるとエンジニアだけでなく学生にも学ぶ事の意味などが伝わったのではないかと思います。



それぞれの立場から会場に向けてのメッセージ

今回は多様な立場の講師が集まったと言う事でパネルディスカッションも行いました。

- ・ 今日、どうでしたか？
- ・ 今までのプロジェクトで一番成長を実感したプロジェクトはどんなプロジェクト？
- ・ 他の職種の方をお願いしたい事はありますか？
- ・ 学生にメッセージを

の4つの質問に対して各講師がそれぞれの考えをパネルに書いて回答していききました。

どの回答もメッセージ性が高く、とくに「失敗の重要性」を学生は感じてくれたのではないかと思います。



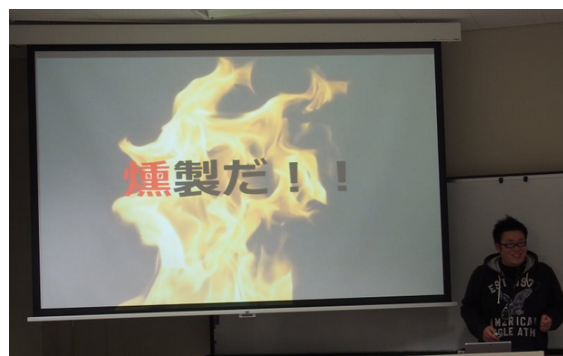
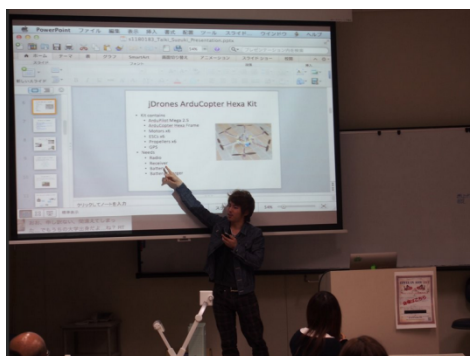
5分以上でも5分以下でもいけないエフスタスタイルのライトニングトーク大会。
今回も多くの方に登壇して頂きました。

オープンデータ、学生へのメッセージ、ドローンに勉強会のすすめなどなど…。今回は総勢9名の発表。

どのプレゼンも素晴らしかったのですが会津の特徴としては学生のレベルの高さでしょうか。会場の声を聞くと社会人の方も刺激を受ける内容が学生からもどんどん飛び出してくる様子を見ると「負けていけないな」という気持ちになります。

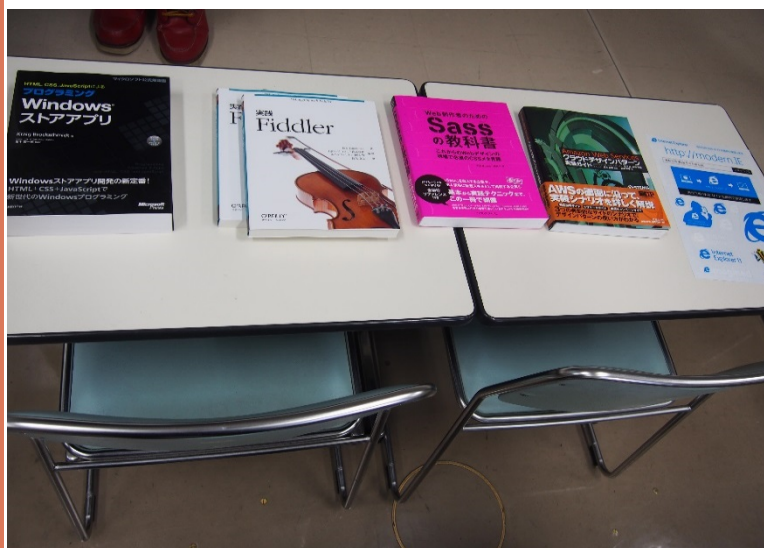
「技術とともに、心を大事に」
とある発表の中で出てきたこの言葉は今回の講師陣が伝えたかった事にも通じるのではないかなと思います。

エフスタではライトニングトークは来るもの拒まずです。「私には無理」と思っている人にこそ、是非発表する経験をしていただければと思います。
やり終わった後に「やらなければ良かった」と言っている人と会った事は有りません。



今回の書籍プレゼントはじゃんけん大会ではなく抽選会形式で実施しました。ご提供いただきました

「株式会社デザイニウム」様、
「日本マイクロソフト株式会社」様
ありがとうございました。



懇親会は市内の「会津しこん」で開催され、参加者数がなんと31名と大盛況でした。

講師・エフスタスタッフ・参加者の方々が入り混じり、普段聞けないような情報を交換したりと、存分に堪能していただけたのではないかと思います。今回参加できなかった方は、お気軽にご参加ください。

